

学校名 福島県立会津第二高等学校

会津二高生が集う図書館づくり

1 学校の概要

- ①〒965-0802 福島県会津若松市徒之町 1 番 37 号
- ②学級数：4、生徒数：23 名（令和 4 年 5 月 1 日現在）
- ③学校図書館の蔵書数：8981 冊（令和 4 年 5 月 1 日現在）

2 本校生の一日

夜間定時制である本校の生徒は以下のとおりである。

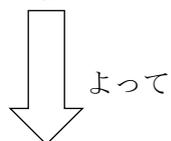
登校前：7 割～8 割の生徒が登校前に就業している

登校時間：15：30～17：40 にばらばらと登校

16：40～17：40：給食

17：45：SHR

17：50～21：05：授業



図書館利用可能時間は

始業前の 15：30～17：40（およそ 2 時間）

放課後の 21：05～21：30（およそ 30 分）

司書が常駐していないため、図書館担当の教員がその時間帯は図書館で作業することになっている。教員がその時間帯に必ず図書館にすることで、生徒は読書や勉強等の相談がしやすい環境ができています。その結果、決まった顔ぶれではあるが、勉強や読書のために図書館を積極的に利用している。図書館で本を手にする者は少なくはないが、貸し出しにまでは至らない。例年 1 月に実施している読書アンケートの結果によると、昼間就業しているため時間の余裕がないことが原因だと考えられる。

《貸出数の推移》 ※職員への貸出数も含んでいる。

令和 2 年度	生徒数：29 名	貸出数：93 冊	一人あたり 3.2 冊
令和 3 年度	生徒数：22 名	貸出数：66 冊	一人あたり 3.0 冊
令和 4 年度	生徒数：20 名※	貸出数：76 冊※	一人あたり 3.8 冊

※R4 年 12 月現在

3 図書館に足を運んでもらうために

読書が目的でなくとも、図書館に足を運ぶうちに本に対する興味・関心が持てるようになるのではないかと考えた。そのため、生徒が関心を持ちそうなことを図書館内で行うようにした。

例1 折り紙…立体的な薔薇等を一枚の折り紙で作成。作成法を指導する。

折られた薔薇等は文化部の活動でリース等に加工し、展示している。
幅広い創作活動ができるようにした。



興味を持つ生徒は多い。
折り紙の本の貸出につながった。

創作活動をはじめた生徒が増えた。
(イラスト・ペーパークラフト
スクラッチアート・ミサンガ等)

例2 給食メニューの館内張り出し…来館する習慣をつけるために貼り付けた。
挨拶をしながら来館する生徒も増加した。

例3 リクエスト箱の設置…生徒からのリクエストになるべく応えている。



漫画本や雑誌なども自由にリクエストさせる。
図書館担当者と本について話す機会になっている。

例4 音楽…CDの貸出も行っている。貸出を利用する生徒はいないが、そのCDを館内で鑑賞できるようにしたところ、気軽に入館する生徒が増えたように感じている。

○コロナウイルス感染拡大の影響を受け図書館内の座席を極端に少なく（8席）したが、始業前はほぼ埋まる状態である。図書館後方にソファを設置しているが、毎日始業前に就労の疲れを癒やしている生徒もいる。借りなくとも、図書館を利用する生徒は増加した。

○単独の視聴覚室が無いため、映像を用いた授業では図書館のモニター、AV機器を使用することもある。プロジェクターが各教室に設置された今、読書活動推進に向けた取組に利用できないかと思案中である。



4 図書館便り「レーゼ・ザール」

資料として残っているもので最古は平成22年度のものである。それから本校図書館担当者が発行し続けている。書籍の紹介のみにとどまらず、音楽や映画を取り上げている。現在はB4版で発行している。



「レーゼ・ザール」内容例

2022年4月	○図書館の利用方法 ○「春」「青春」特集 『季節風 春』重松清 『青森ドロップキッカーズ』森沢明夫 他
2022年5月	○部活動特集 『ボックス』百田尚樹 『よもぎ学園高等学校蹴球部』松波太郎 『春や春』森谷明子 他
2022年6月	○新刊案内 『現代生活独習ノート』津村記久子 『メンタル強め美女白川さん3』獅子 『建築家になりたい君へ』隈研吾 他
2022年7月8月 合併号	○新刊案内 『映画を早送りで観る人たち ファスト映画・ネタバレ コンテンツ消費の現在形』稲田豊史 『その本は』又吉直樹・ヨシタケシンスケ 『夜に星を放つ』窪美澄 他
2022年9月	○芸術特集 『ノーマン・ロックウェル画集』 『ひだまりをつくるひと 柿本幸造 絵本画集』 『美術の物語』エルンスト・H・ゴンブリッチ 『ファン・ゴッホの生涯 上・下』スティーブン・ネイフ 他